



水土里情報を活用した家畜防疫システムについて紹介します

(1/2)

今回紹介する団体：宮崎県 県内各市町村 水土里ネット宮崎

取組概要

内容：家畜防疫体制を強化するため県内全域の畜産農家情報をデータベース化し、畜産農家位置情報及び埋却予定地等を水土里情報で整備。

経緯：①平成22年4～7月に宮崎県で家畜伝染病「口蹄疫」が発生し、約30万頭の牛・豚等が殺処分された。

②家畜防疫対応には、県と市町村で共有された農家情報・飼養頭数等のデータと作業班が迅速に現地到着するための正確な農場位置を示した共通の地図が必要となった。

③平成23年度に県単みやざき農畜産業復興支援システム整備事業において水土里情報システムに家畜情報テーブルや防疫対策機能を付加し、家畜防疫システムを構築した。

④平成24年度に家畜情報入力及び試験運用を実施、平成25年度から本格運用を開始し、県及び市町村の関係部署で活用している。

水土里情報家畜防疫データ管理システム

データ選択 報告年 2013 報告年の更新 申請印付:実行

農場名(一部入力可)

農場番号 総コード入力 市町村コード・市町村1, 縣2, 縣3, その他4桁

旧農場番号(参考) 7桁年(年:縣:市町村:農)4桁その他 7桁目:宮崎管内 5桁目:管内 3桁目:管内

農場市区町村名 水土里市 家畜保健所管内

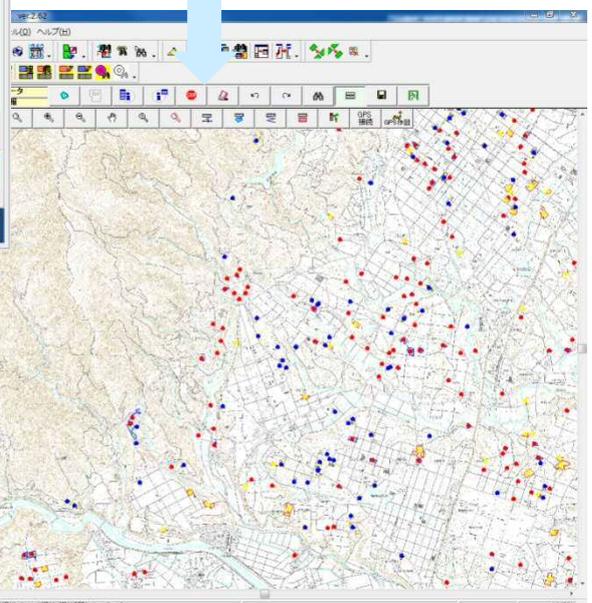
地区名

<p>データ編集</p> <p>牛データ確認・編集</p> <p>豚データ確認・編集</p> <p>鶏データ確認・編集</p> <p>鳥データ確認・編集</p> <p>地区マスタ保守</p>	<p>エクセル出力</p> <p>牛データ出力</p> <p>豚データ出力</p> <p>鶏データ出力</p> <p>その他データ出力</p> <p>修正用データ出力</p>	<p>定期報告書作成</p> <p>牛定期報告書</p> <p>豚定期報告書</p> <p>鶏定期報告書</p> <p>最大管理番号確認</p> <p>修正用データ取込</p>
---	---	--

新規データ登録

アクセスで作成された管理システムを全市町村に配布

家畜情報を水土里情報に取り込み



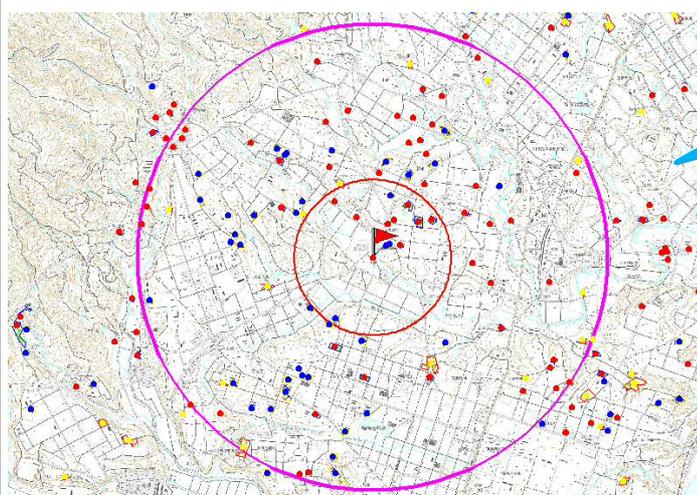
- ・畜種別・畜種毎等の目的に応じた表示が可能
- ・家畜規模(飼養頭数)での検索等上記システムで入力されたデータでの検索が可能

畜種区分



期待される効果

- ①県内で統一したデータを扱うことにより、発生農場からの制限区域内に位置する農場を各市町村が抽出することが可能となり、結果を出力することにより関係部署での早急な情報の共有が可能。
- ②農場の位置を座標管理することにより、ナビ機能等の活用で正確に現地への到着が可能。
- ③消毒ポイント、埋却地を事前に計画しておくことにより迅速な対応が可能。

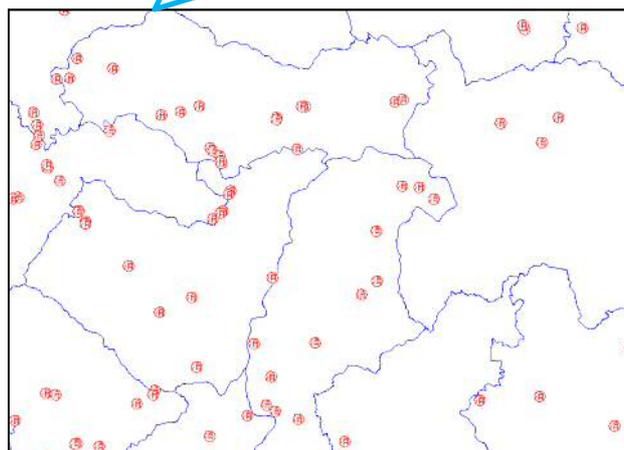


発生した農場を検索し制限区域を作成することにより、制限区域内農場を素早く検索

あらかじめ計画している消毒ポイントを作図することで情報を共有

制限区域内農場リスト出力

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	養鶏								
2	養鶏								
3	養鶏								
4	養鶏								
5	養鶏								
6	養鶏								
7	養鶏								
8	養鶏								
9	養鶏								
10	養鶏								



今後の活用予定

- ・字界図を作成し制限区域内の農場に加えて該当字リストを出力できるよう機能追加を行い活用する予定。
- ・埋却予定地の妥当性を判断するために、周辺の地下水利用等を付加する予定。
- ・広域での連携を強化するために、近隣県の情報を取り込み活用する予定。

■お問い合わせ先

宮崎県農政水産部畜産新生推進局家畜防疫対策課	0985-26-7139(直通)
宮崎県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター	0985-24-3050(直通)
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、溝添)	03-6744-2212(直通)